九州農政局長賞
農事組合法人芦刈農産（大分県豊後大野市）

あしかりのうさん　ぶんごおおの

６次産業化により農事組合法人の経営を確立し、農業・集落、そして地域社会の維持発展に貢献。

１．地区の概要

農事組合法人芦刈農産のある芦刈地区は、大分県の南部・豊後大野市東部の中山間地にあり、台地上に畑地、谷川沿いに水田が分布し、人口240人・世帯数92戸。

２．団体の概要

本法人は、「地区の農地を守るとともに、農業でもうけ、将来的に後継者を残したい。」と、平成17年に農事実行組合、青年グループ等を解散し、出資者57人で設立。農場、調整出荷、６次産業化等に業務を分担し、女性組織「姫の会」は商品開発を担当している。

３．団体の取り組み

○ 甘藷の独自ブランド化（商標名「はるか姫」）、焼き芋やペースト等の６次産業化、甘藷とスイートコーンの作付体系等により、完全周年雇用を実現し、集落内外から６人を常時雇用している。

○ 個人の適性に合わせた作業体系を作ることにより、住民の出役が安定的に確保され、作業をとおした住民同士の交流も行われている。

○ 自治会の一員として、祭り等への飲食物等の提供、道路沿いの草刈り、水路の維持管理等を行い、集落の維持発展に貢献している。

○ 保育園・大学等の農業体験受入をとおして、教育の場の提供、住民と子ども・若者との交流を行うほか、特別支援学校の就業体験も受入れ、障がい者の社会進出を支援している。

甘藷のペーストを用いた商品

ペタンク大会での餅まき

農業大学校との交流（甘藷収穫）